

事務事業名		美術博物館市民ギャラリー活用事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名	学芸係		
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			施策	27	文化芸術の振興	
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民、高校生、小中学生)。				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	市民の文化芸術活動が盛んになる					圏域住民数(人)		164580	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	使用する個人・団体数			37	38	34	40		
	成果指標	観覧者数			15000	16776	15000	15000		
定性目標										
事業概要	自然、人文、美術および広く文化芸術に関する創造活動の発表の場として、飯田下伊那地域に住所を有する個人・団体が使用できる。 平成26年度から、使用料の徴収を開始する。									
事業内容					名称			活動指標		
26年度事業内容	1 市民ギャラリーの使用が公平になるよう使用抽選会を開催し、使用者を決める。(前年度2月第1日曜日) 2 市民ギャラリーの使用(展示撤収)が円滑にできるよう展示備品を準備し、作業のサポートを行う。 3 市民ギャラリーの展示内容を告知する。 4 展示・撤収の作業				1 使用した個人・団体数 3 観覧者数			1 38 2 16,776人		
事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①	1,223	1,383	1,382	1,357	26(そ)使用料 27(そ)使用料					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		109	150	104						
一般財源	1,223	1,274	1,232	1,253						
人件費計(千円)②	3,436		3,436							
正規職員所要時間	600		600							
臨時職員所要時間	1,200		1,200							
総事業費①+②	4,659	1,383	4,818	1,357						
事業内容・目標達成状況の振り返り	これまで無料だった市民ギャラリーの使用料を平成26年度から徴収することにした。その結果、参加団体はわずかに減少し、観覧者数もこれにしがたって減少した。しかし、有料化が際立った市民ギャラリー離れにつながった傾向は見られず、市民の創作活動の発表の場としての魅力は損なわれていない。									
改革改善の考え方	①問題点	不特定多数の団体、個人が年間を通じて展覧会場として利用するため、展示壁面が早々に汚れてしまう。								
	②改革提案	何年かに1回の壁紙の張り替えを行う。								